

(様式第1号)

< 記入例 >

平成24年 2月20日

尼崎市長 稲村和美様

申請者住所 尼崎市東七松町1-23-1

団体名 さくらグループ

代表者氏名 [redacted] 印

あまがさきチャレンジまちづくり事業補助金交付申請書

平成24年度において、あまがさきチャレンジまちづくり事業を下記のとおり実施したので、補助金 88,000 円を交付願いたく、補助金交付要綱第4条の規定により、下記の関係書類を添え申請します。

記

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 1 事業の目的 | あまがさきチャレンジまちづくり事業の助成
(ステップアップ事業) |
| 2 事業実施計画 | 別紙1-6・別紙1-7 のとおり |
| 3 事業実施予算 | 別紙2-4 のとおり |

< 提出前に >
コピーをとって
おいてください。

ステップアップ事業分

事業名	地域福祉の講演会事業		団体名	さくらグループ
補助期間	2年	分野	募集要項掲載の一覧表から記入	
事業の目的・内容・意義 現状と課題	本事業の補助金を過去に受けた年数を記入			
事業（取組）内容	現実に存在する地域の課題やニーズについて、どのような取組を新たに展開し解決しようとするのかなど、具体的に記入してください。 (注) 団体運営上の課題やニーズではありません。			
目指す姿				
事業の計画				
時期	内容（予定回数、活動場所、対象者、人数等具体的に）			
6月上旬	〇〇について 町から 町住民 人に対しアンケート調査			
8月下旬	アンケート分析作業			
・	・			
10月〇日	〇〇について研究発表会 会館、地域住民150人			
1月	〇〇講演会とバザー 集会所、地域住民200人			
	今回補助金を申請する事業について記入してください。(通常の団体の会議・活動や補助金を申請しない事業については記入しないでください) また、予定回数、場所、対象者、人数は必ず記入してください。			
この事業の実施歴（以前から、この事業を行っている場合は、必ずご記入ください）				
以前、この補助金を受けた、受けていないに関わらず、必ず記入してください。				
来年度以降の展開について				
この補助金を受けて実施する事業を来年度以降はどのように展開する予定なのかについて記入してください。				
その他 特記事項				

あまがさきチャレンジまちづくり事業団体名簿

(別紙 1 - 7)

団体名： さくらグループ

代表者：

所在地： 〒 尼崎市・・・

団体設立： 平成 11 年 1 月

電話番号： 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

会 則： (有) 添付してください)・無

FAX 番号： 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

メールアドレス：

	氏 名	住 所	団体内の役割等
1		東七松町 1-23-1 (06-6489-6132)	代表
2		南塚口町 - (06-6489-)	副代表
3		<div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ この事業は、概ね 10 人以上で活動する尼崎市民主体の団体を対象にしています。 ・ 必要に応じて事務局から連絡をしますの で、代表を含む役員（役員が 3 名に満た ない場合は構成員のうち 3 名以上）の方 については 必ず連絡のとれる電話番号 も記入してください。 </div>	会計
4			広報係
5			
6			
7			
8			
9			
10		東七松町 丁目 (-)	
11		東七松町 丁目 (-)	
12	.		
13	.		
14	.		
15	.		
16	.		
17	.		
18	.		
19	.		
20			

・人数が多い場合は合計人数を記載の上、名簿には主たるメンバー 20 人の記入をお願いします。

・この名簿は当事業の目的以外に使用することはありません。 他 合計 人

「事業実施計画書」に記載している内容に対応する経費のみ記載できます(通常の団体の活動経費、運営経費は記載しないでください)。

< 記入例 >

あまがさきチャレンジまちづくり事業実施予算書

(別紙 2 - 4)

ステップアップ事業分

にチェックを入れてください

事業・団体名 地域福祉の講演会事業・さくらグループ

国、県、市などの公的機関から他制度による補助金等を受けません

(1) 収入 (単位: 円)

区分	金額	摘要
市補助金 交付申請額	88,000(a)	ステップアップ事業補助金 1,000円単位とします
会費	78,000	月会費@500×12月分×13人
バザー収入	14,500	
合計	180,500 (b)	補助金割合 a/c (小数点第2位を四捨五入) 49.7%

88,000(a) ÷ 177,200(c)
50%以下であること

(2) 支出 (単位: 円)

科目	金額	内訳	
補助金充 当経費	謝礼金	20,000	講師料@10,000×2(講演会) (講演会・大学教授、センター所長)
	交通費	4,000	講師交通費@2,000×2(講演会・同上講師2名)
	会場使用料	10,700	会館@2,000×3時間×1回(研究発表会) 集会所(午前利用)@4,700×1回(講演会)
	消耗品	46,000	ちらし用紙代@4,000×4、事務用品10,000、パネル 作成費など@10,000×2枚(研究発表会・講演会)
	保険料	6,500	ボランティア保険@500×13(講演会)
	印刷製本費	90,000	発表会資料@200×150(研究発表会) パンフレット@300×200(講演会)
	計	177,200 (c)	
外補 助 費 対 象	食糧費	3,300	会議菓子代1,000、講師弁当・お茶代@1,150×2(講演会)
	計	3,300	
合計	180,500 (d)		

必ず単価・数等の内訳を記入してください。また謝礼金・交通費は支払先も記入してください。備品購入費の上限額や対象外経費(食糧費等)にも注意してください。

注1) 補助対象となる金額(c)が市補助金(a)の2倍以上必要です。

注2) (b) = (d)としてください。

注3) 領収書は事業実施後の書類に必要ですので保管しておいてください。